

平成○年○月○日

○○病院

病院長 ○○ 様

## 調査の依頼

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私は、聖路加看護大学博士課程で、小児看護学を専攻している学生です。肝移植を経験した青年期の患者が、よりよい生活を営むことができるような支援について研究したいと考えております。この度、『生体肝移植を経験した青年期の患者が相互作用の中で成熟していく過程の理論生成』というテーマで研究したいと考えております。生体肝移植を経験した青年期の患者の成熟する過程を明らかにすることで、患者が成熟し生きがいを持って生活していくことができるような支援や成人期への移行医療に関する看護支援を検討するための基礎的な資料としたいと考えております。

なお、本研究は、研究者の在籍する聖路加看護大学の倫理審査委員会ですべてを受けており、患者様やご家族の方に、十分な倫理的な配慮をもとに実施させていただきます。（聖路加看護大学 研究倫理審査委員会承認番号： ）

## ●研究の概要

目的：青年期の患者にとっての移植という経験やその後の療養生活が青年期の成熟する過程に及ぼす影響の要素や要因について探索し、理論化する。

方法：対象者へインタビューを行い、その内容を質的に分析・記述する研究

対象者：外来通院しながら地域で生活する小児期（0-20 歳）に、肝移植を経験し 1 年以上経過したおよそ 17 歳～25 歳位までの患者

対象者数：10 名～15 名程度

## ●協力依頼内容

①研究目的に応じた対象者を医師に選定して頂きご紹介いただくとともに、研究者の紹介について対象者への確認をとっていただきたいと考えております。

②対象者やご家族が、本研究により精神的・身体的な安寧が脅かされないよう十分な配慮をいたしますが、何か心配と思われることが生じた場合、ご相談させていただきたいと思えます。

③面接時に使用する個室を提供していただければ幸いです。

お忙しい中誠に恐縮ではありますが、是非ともご高配のほど重ねてお願い申し上げます。

研究者：田村敦子

所属：聖路加看護大学大学院博士後期課程

指導教授：聖路加看護大学 小児看護学教授 及川郁子

連絡先：03-5550-2261



平成 年 月 日

〇〇病院

看護部長 〇〇様

## 調査の依頼

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私は、聖路加看護大学博士課程で、小児看護学を専攻している学生です。肝移植を経験した青年期の患者が、よりよい生活を営むことができるような支援について研究したいと考えております。この度、『生体肝移植を経験した青年期の患者が相互作用の中で成熟していく過程の理論生成』というテーマで研究したいと考えております。生体肝移植を経験した青年期の患者の成熟する過程を明らかにすることで、患者が成熟し生きがいを持って生活していくことができるような支援や成人期への移行医療に関する看護支援を検討するための基礎的な資料としたいと考えております。

なお、本研究は、研究者の在籍する聖路加看護大学の倫理審査委員会ですべてを受けており、患者様やご家族の方に、十分な倫理的な配慮をもとに実施させていただきます。（聖路加看護大学 研究倫理審査委員会承認番号： ）

## ●研究の概要

目的：青年期の患者にとっての移植という経験やその後の療養生活が青年期の成熟する過程に及ぼす影響の要素や要因について探索し、理論化する。

方法：対象者へインタビューを行い、その内容を質的に分析・記述する研究

対象者：外来通院しながら地域で生活する小児期（0-20 歳）に、肝移植を経験し 1 年以上経過したおよそ 17 歳～25 歳位までの患者

対象者数：10 名～15 名程度

## ●協力依頼内容

①研究目的に応じた対象者を医師に選定して頂きご紹介いただくとともに、研究者の紹介について対象者への確認をとっていただきたいと思いますと考えております。

②対象者やご家族が、本研究により精神的・身体的な安寧が脅かされないよう十分な配慮をいたしますが、何か心配と思われることが生じた場合、ご相談させていただきたいと思えます。

③面接時に使用する個室を提供していただけますと幸いです。

お忙しい中誠に恐縮ではありますが、是非ともご高配のほど重ねてお願い申し上げます。

研究者：田村敦子

所属：聖路加看護大学大学院博士後期課程

指導教授：聖路加看護大学 小児看護学教授 及川郁子

連絡先：03-5550-2261



平成 年 月 日

移植外科学

〇〇 様

### 調査の依頼

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私は、聖路加看護大学博士課程で、小児看護学を専攻している学生です。肝移植を経験した青年期の患者が、よりよい生活を営むことができるような支援について研究したいと考えております。この度、『生体肝移植を経験した青年期の患者が相互作用の中で成熟していく過程の理論生成』というテーマで研究したいと考えております。生体肝移植を経験した青年期の患者の成熟する過程を明らかにすることで、患者が成熟し生きがいを持って生活していくことができるような支援や成人期への移行医療に関する看護支援を検討するための基礎的な資料としたいと考えております。

なお、本研究は、研究者の在籍する聖路加看護大学の倫理審査委員会ですでに受けており、患者様やご家族の方に、十分な倫理的な配慮をもとに実施させていただきます。（聖路加看護大学 研究倫理審査委員会承認番号： ）

#### ●研究の概要

目的：青年期の患者にとっての移植という経験やその後の療養生活が青年期の成熟する過程に及ぼす影響の要素や要因について探索し、理論化する。

方法：対象者へインタビューを行い、その内容を質的に分析・記述する研究

対象者：外来通院しながら地域で生活する小児期（0-20 歳）に、肝移植を経験し 1 年以上経過したおよそ 17 歳～25 歳位までの患者

対象者数：10 名～15 名程度

#### ●協力依頼内容

①研究目的に応じた対象者を医師に選定して頂きご紹介いただくとともに、研究者の紹介について対象者への確認をとっていただきたいと考えております。

②対象者やご家族が、本研究により精神的・身体的な安寧が脅かされないよう十分な配慮をいたしますが、何か心配と思われることが生じた場合、ご相談させていただきたいと思えます。

③面接時に使用する個室を提供していただくと幸いです。

お忙しい中誠に恐縮ではありますが、是非ともご高配のほど重ねてお願い申し上げます。

研究者：田村敦子

所属：聖路加看護大学大学院博士後期課程

指導教授：聖路加看護大学 小児看護学教授 及川郁子

連絡先：03-5550-2261

\_\_\_\_\_様

### インタビューへの協力をお願い

私は現在、聖路加看護大学大学院で小児看護学を勉強している学生です。

この度私は、移植外科の外来に通院される皆様が、肝移植を経験したことやその後の通院や服薬などの療養生活について考えていることや感じていること、また、進路や就職、結婚などへの影響についてどのように考えていらっしゃるか、お話を聞かせていただきたいと考えております。皆様が教えてくださったことは、同じように肝移植を経験した患者様の看護の向上に役立てたいと考えております。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

#### ●ご協力いただきたいこと●

- ・ 一時間くらいのインタビューを1～2回程お願いいたします。
- ・ インタビューの日時や場所は、ご都合に合わせて設定いたします。
- ・ インタビューの内容を録音することをご了承ください。録音したものは、研究者が責任を持って管理し、研究終了後には責任を持って消去いたします。
- ・ インタビューでは、あなたの肝移植の体験やその後の療養生活などについて伺います。お話されたくないことは、話さなくても大丈夫です。話しても良いと思うことをお話ください。
- ・ 途中で中止することもできます。インタビュー中に気分が悪くなったり、疲れたりした時は、中止いたします。
- ・ 皆さまのお話からわかったことを、あなたのことであることがわからないようにまとめて、専門の学会、学術雑誌に公表することがあります。その際には個人が特定されることのないよう、匿名性は固く守りいたします。
- ・ お話いただいた内容を勝手に医師や看護師に話すこともありません。秘密を守ることをお約束します。録音したものは研究終了時に責任を持って消去し、書類なども責任を持ってシュレッダーにかけて破棄します。

#### ● 研究への協力によるメリット・デメリット ●

- ・ インタビューで病気についてお話いただく中で、お気持ちに変化や影響が出るかもしれません。その際にはお気持ちの状態によりインタビューを中止し、あなたので了承を得て、病院の医師や担当看護師にサポートをお願いします。
- ・ インタビューの時に病気や治療のことなど何か聞きたいことがある場合は、私が具体的にお答えできるかどうかわかりませんが、その都度相談に応じたり、解決できるような方法を考えます。
- ・ お話いただいたことは、今後の肝移植を経験された思春期から青年期の患者様の看護の向上に役立てます。

## ● 研究への協力・中止 ●

- ・ 研究協力は任意です。一度研究に同意しても、その後中止することができます。その際はお渡しする研究協力断り書を研究者までお送りください。
- ・ 中止の場合には、録音させていただいたものは、その時点で責任を持って消去いたします。
- ・ この研究に協力しないことで、あなたやご家族の方が、今後の治療などに関して影響を受けることは一切ありません。
- ・ 研究に関することは、病院施設の方にご相談いただけます。研究に関するご意見を研究者に直接言いにくい場合は、指導教員あるいは病院施設の方にご伝言ください。直ちにフィードバックをもらい、研究者の態度を見直します。
- ・ この研究に同意し、ご協力いただける場合には下記にサインをお願いいたします。

## ● 問い合わせ先 ●

研究者連絡先: 聖路加看護大学博士後期課程 田村 敦子

E-mail [08DN005w9X@slcn.ac.jp](mailto:08DN005w9X@slcn.ac.jp)

指導教員 聖路加看護大学 小児看護学 教授 及川郁子

電話番号 03-5550-2261

---

私は、上記の内容について説明を受けました。わかりましたので、協力します。

年 月 日

研究対象者(署名)

私は上記の内容を守って、研究を行うことを約束します。

年 月 日

研究者(署名)

聖路加看護大学 研究倫理審査委員会承認番号:〇〇

## インタビューガイド

1. ドナーとなった方に対する思いや肝移植を受けたことに対して何か考えたり感じたりしていることをお聞かせください。
2. 肝移植後の通院や服薬などに関して思っていることをお聞かせください。もし、服薬しなかった（服薬し忘れた）経験があれば、その理由を教えてください。
3. 今までの進学やこれからの進学・就職・結婚などの際に、移植したという経験や移植後の療養生活で何か影響があるのではないかと考えていることをお聞かせください
4. あなたがこれまで学校生活や通院や服薬など療養生活を送る中で、親御さんがどのようにかかわってこられたかお聞かせください。
5. 家族や医療者以外に移植の経験を話したことはありますか？話したことがなければ、話さなかったあるいは、話しにくかった理由を教えてください。

〒104-0044

東京都中央区明石町 10-1

聖路加看護大学

田村 敦子 行

## 研究への参加・協力の断り書

私は、「生体肝移植を経験した青年期の患者が相互作用の中で成熟していく過程の理論生成」の研究への参加・協力を辞退します。

日付 平成 年 月 日

研究協力者（お名前）

※ なお、この研究への参加・協力は自由意思によるものです。参加を中止した場合でも、今後お受けになる治療および医療サービスに関して不利益が生じる場合は一切ありません。